



東北大学グローバルCOE

Network Medicine

創生拠点

NM高等教育セミナー

Jozef Dulak 博士

(Jagiellonian University, Poland・Professor)

「Oxidative signaling, microRNA and stem cells: significance for regenerative medicine」

2010年9月13日(月) 16時-17時
加齢医学研究所 大会議室

Dr. Dulakは、1986年Jagiellonian UniversityのFaculty of Biology and Earth Sciencesを卒業し、1990年同大学のPh. Dを取得している。Free University, Amsterdam (Netherlands), University of Muenster (Germany), Stanford University (USA)でのポストドクの後、2001年Jagiellonian Universityに戻り、2007年より同大学Department of Medical Biotechnology, Faculty of Biochemistry, Biophysics and Biotechnologyの教授に就任した。専門領域は幹細胞生物学と心血管系の再生医学である。

幹細胞は、酸化ストレスから自分を保護する分子群を高発現しているが、近年それらの分子は細胞保護のみならず多彩な機能を担っていることが注目されている。それらの分子群の中でDr. Dulakはheme oxygenase-1(HO-1)に注目して研究を進めている。セミナーでは、HO-1がmicroRNAの発現調節を介して骨髄内皮前駆細胞の血管再生機能に重要な役割を果たしているという最新のデータを紹介する。

参考文献

Dulak J, Deshane J, Jozkowicz A, Agarwal A. Heme oxygenase-1 and carbon monoxide in vascular pathobiology; focus on angiogenesis. *Circulation*, 117: 231-241, 2008 (invited review).

本セミナーは医学履修課程特別セミナーを兼ねています。受講学生は履修振替簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 佐藤 靖史 (加齢研腫瘍循環研究分野 内線8532)

※加齢医学研究所・研究会同窓会との共催セミナーです。